

# 漢詩から見る日本と中国の違い

(Difference between Japan and China from Chinese Poem Analysis)

范 乃心

Naixin Fan

82-373 Structure of the Japanese Language

## 1. はじめに

漢詩の読み方から見る日本語と中国語はどこが違うか。

漢詩は、中国の文化の重要な一部だ。先秦の詩経、楽府から、唐朝の絶句、律詩まで、色々な違う書式があって、たくさんいい作品がある。そして、昔から遣隋使・遣唐使が中国の文化を伝えて、受け取った日本人に、今でも漢詩は教科書に載るぐらいの大事なもの。だから、漢詩は日本と中国の二つの文化を繋げた結びとも言える。しかも、同じ漢詩の読み方、意味、そして好みの違いも大きくある。中国の漢詩もちろん、日本人の漢詩も興味深いものがいっぱいある。これは日本と中国の文化に興味を持つ私にとって、面白いトピックだ。

## 2. 日本と中国の漢詩

### 2. 1. 漢文訓読と「棒読み」の違い

中国語と日本語はほとんど同じ漢字を使っているけど、文法と読み方に大き

な違いがある。だから、漢詩を日本語で読む時は、漢文訓読を使う。漢文訓読の重要なポイントは書下し文と返り点の二つだ。書下し文は、漢文に足りない部分を足す。例えば、助詞、助動詞と動詞の送り仮名、または終助詞も全部書下し文でに足している。そして、返り点は、中国語と日本語の読み順の違いを示すマークだ。レ点、一・二点、甲・乙点など、中国語の語順を日本語の語順に変換するためにつける。

一方、棒読みの意味は、今でアフレコの時が無感情でセリフを読むことと皆に知られたが、最初の意味は、漢詩文を返り点と書下し文を使わず、そのまま音読みで漢字を読むことだ。たとえば、有名な漢詩の一句である「春眠不覺曉」は、漢文訓読では「春眠、<sup>しゅんみん</sup> 曉<sup>あかつき</sup> を<sup>おぼ</sup> 覚えず」と読む。これは日本語の文法に従う正しい読み方だ。そして、棒読みの時は、そのまま「春眠不覺曉<sup>しゅんみん ふ かくぎょう</sup>」と読む。だから、棒読みは中国語の日本語読みとも言える。ここで気づくのは、漢詩にない助詞、「を」を足して、正しい文法になったことだ。

## 2. 2. 助詞の使い方

助詞には色々なカテゴリーがある。よく使うのは、格助詞、接続助詞、副助詞と終助詞の4つのカテゴリーだ。格助詞は、文節との関係を表すもの。接続助詞は助動詞などについて、意味を付けるもの。副助詞はそのまま意味を付けるもの。そして、終助詞は文末で、意志や気持ちを表す言葉だ。ここでは、先ず一つの漢詩を見て、助詞などの使い方を分析する。

先ずは、平安時代の貴族に好かれた白居易の「村夜」から。

\*:左は漢詩原文で、右は漢文訓読。

### 村夜 白居易

霜草蒼蒼蟲切切

霜草 蒼蒼として 虫 切切

村南村北行人絶

村南村北 行人絶ゆ

獨出門前望野田

獨り門前に出て 野田を望めば

月明蕎麥花如雪

月明らかにして 蕎麥花 雪の如し

一行目では、二つの並び言葉は「として」で繋がった。

三行目は、格助詞の「に」と「を」を足し、そして仮定を表現する接続助詞の「ば」を加えた。仮定は元々文章にない意味だけど、次の文とつなぐために訓読する時に足した。

## 2. 3. 日中語の文化の見方の違い

漢詩は韻文なので、書く時に、言葉の簡略化と言葉選びは大事なことだ。だから、書く時は一番似合う言葉、または最も短い言葉を選ぶ。そして、時々文章の省略もある。それを漢文訓読にする時は、全部足さなければならない。いっぽう、日本語で書く詩歌の短歌と俳句でも、助詞なども詩の一部になる。

## 3. おわりに

日本語と中国語は見た目が似ているが、文法や表現に大きな違いがある。特に漢詩では、限られた字数で、表現したいものを書くのには、省略などが要る。その文章を日本語の読み方にすると、読み順の変化た意味の違いも生まれる。

## データ出典

Web 漢文大系

<https://kanbun.info/index.html>

## 参考文献

日語/文法/助詞助動詞——Wikibooks

<https://zh.wikibooks.org/w/index.php?title=%E6%97%A5%E8%AA%9E%2F%E6%96%87%E6%B3%95%2F%E5%8A%A9%E8%A9%9E%E5%8A%A9%E5%8B%95%E8%A9%9E&variant=zh>

■ Hello School 国語 文法 助詞 ■

<http://www.hello-school.net/harojapa010.htm>